

令和2年度ふくしまグリーン復興構想等の実現に向けた事業具体化検討等委託業務

◆業務の背景

平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、福島県内の自然公園利用者数は急激に落ち込み、今も震災前の7割に満たない状況が続いている。県内の自然環境の素晴らしさを多くの人々が実感し、次世代に引き継ぐため、環境省と福島県は「ふくしまグリーン復興構想」をとりまとめ、「国立公園・国定公園の魅力の向上」、「環境変化を踏まえた県立自然公園の見直し」、「国立公園・国定公園を中心に福島県内を広く周遊する仕組みづくり」を3つの柱として、この構想を推進している。



ふくしまグリーン復興構想概要版より
(平成31年4月福島県・環境省)

◆4社での共同事業

本業務では、上記を踏まえ地域振興の絵姿を描くことを目的とし、代表事業者であるアジア航測(株)を筆頭に、(株)エックス都市研究所、(株)コムテック地域工学研究所、(株)メッツ研究所の4社が共同事業体として協力し合い、主に以下の4つの事業を行った。

| 主な業務【担当会社（略称）】 | 特徴的な実施内容 |
|---|---|
| ①磐梯朝日国立公園（磐梯山周辺地域）の魅力向上に向けた拠点施設（ビジットセンター）の展示に係る計画策定、及び脱炭素型交通機関の導入に向けた検討等【アジア航測・コムテック】 | <ul style="list-style-type: none"> —VR ゴーグルによる動画上映実証事業 —E-bike レンタル実証事業 —脱炭素型暖房設備の導入検討 —グリーンスローモビリティの導入検討 |
| ②只見柳津県立自然公園の国定公園編入を見通した脱炭素に留意した拠点施設の基本構想策定と公園の魅力向上策の検討等【アジア航測・エックス】 | <ul style="list-style-type: none"> —新たな拠点施設の候補地選定 —拠点施設の基本コンセプト設定 —拠点施設の平面プラン案検討 —地域振興メニューの整理と提案 |
| ③ロングトレイルの整備など国立公園・国定公園を中心として県内を周遊する仕組みづくりの検討等【メッツ・コムテック】 | <ul style="list-style-type: none"> —「会津トレイル」の設定 —観光シェアサイクルの実現性の検討 |
| ④「ふくしまグリーン復興構想」シンポジウムの開催および運営【エックス】 | <ul style="list-style-type: none"> —パネルディスカッションのWEB配信 |

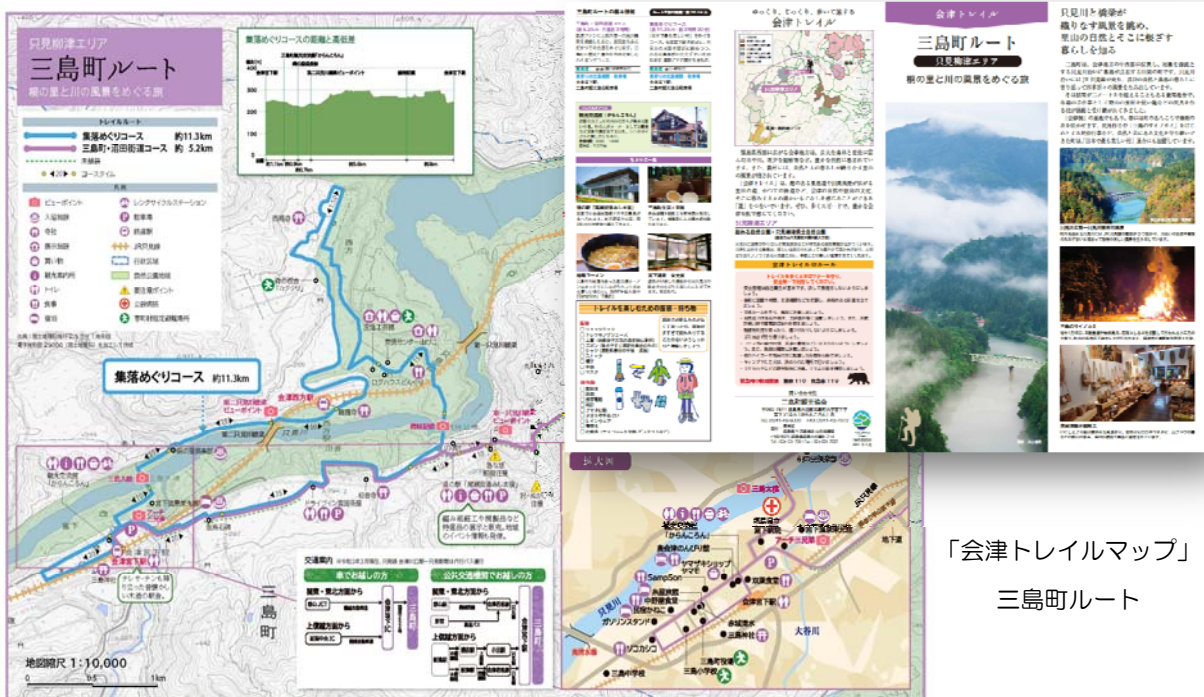
◆「会津トレイル」の設定

メッツ研究所の主担当として、会津地域の自然公園周辺において会津トレイルの検討とルート設定（檜枝岐村ルート、只見町ルート、三島町ルート）を行った。具体的には、①約 140 kmにわたる道の調査や評価、②地元意見交換会や協議会の開催による合意形成、③モニターツアー実施を通じた利用促進の検討、④トレイル台帳とハイカー向けトレイルマップの作成を行ったほか、これらを踏まえトレイル基本計画案を作成した。



◆トレイルマップの作成

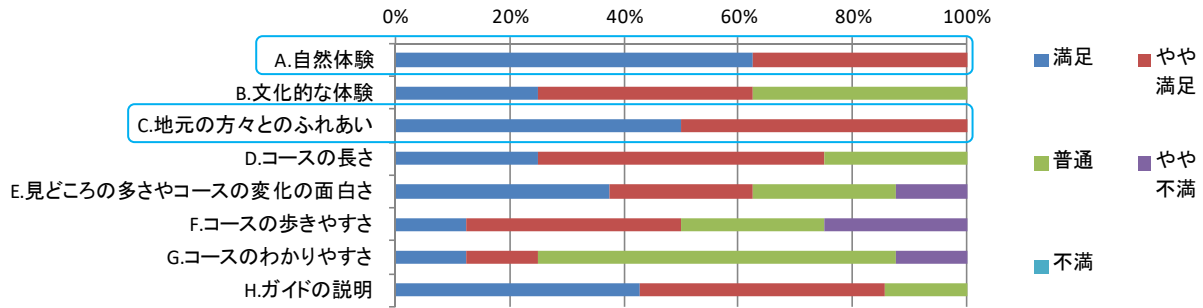
設定したルート毎に、町村の自然・文化について紹介し、「まちの色」をテーマカラーにするなど地域の特徴を活かしたトレイルマップを作成した。



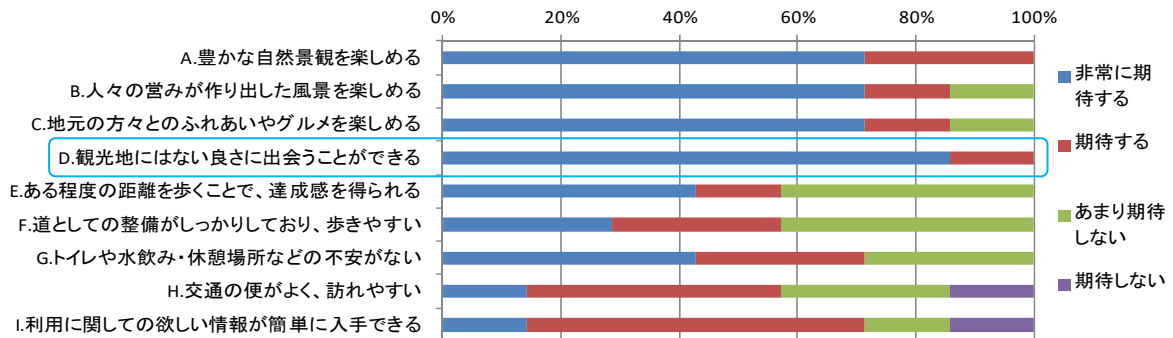
◆「会津トレイル」への期待 ～モニターツアーアンケート結果より～

三島町ルートで行ったモニターツアーでは、地元住民や有識者のハイカー、県庁職員の方々約30名でコースを歩き、アンケートにて評価を頂いた。

満足感が高く、特に「自然景観」のよさや「地元の方々との触れ合い」について高評価であった。また、会津トレイルに求める価値として、「観光地にはない良さに出会えること」を評価する回答が多く見られ、一つの地域をじっくり歩くことで、「いつもの周遊型観光」よりも深く、自然・文化体験や地元との交流が楽しめる「スローツーリズム」への期待が感じられる結果となった。



(アンケート結果) モニターツアーの評価



(アンケート結果) 会津トレイルに期待すること



モニターツアー実施風景